



市民のひろば

市民の皆さんの創作活動を紹介する本コーナー。
今回は特別編として夏休みに開催された「川上澄生も描いたガラス絵をつくらう!」のレポートを掲載します。



7月31日、文化活動交流館・創作工房室で「川上澄生も描いたガラス絵をつくらう!」が開催されました。ガラス絵の技法を体験できる小中学生を対象とした本教室。講師に第50回市民美術展で大賞を受賞した、たかむらゆきさんを迎え、7人の小学生が参加しました。

ガラス絵は川上澄生も制作しており、左右反転して完成に至るその過程は、版画にも通じるものがあります。教室ではガラス板や油絵具ではなく、アクリル板とアクリル絵の具を使用しますが、描き方は実際のガラス絵と同じ。透明な板の裏面に描かれた絵を表側から鑑賞するため、通常の絵画とは逆に一番上に乗る色を最初に塗っていきます。そんなガラス絵技法特有の難しさにも子どもたちは驚き、戸惑いながらも、たかむらさんの丁寧な説明を受けて、キャラクターや花、ハンバーガー等、思い思いの作品作りを楽しみました。

★作品募集★
「まちのギャラリー」では、市民の皆さんの作品を募集しています。絵画、工芸、木版画、手芸など力作をお寄せください。
広報広聴係 ☎(63)2128

鹿沼市 LINE 公式アカウント



はじめました♪

友達募集中!

防災情報やコロナ関連情報など
生活に役立つ情報をお届け!

LINEアプリの友だち追加から
「QRコード」または「ID検索」
でご登録ください



受け取りたい情報を
自分で選べる

- 緊急情報
- ライフイベント
- くらし・手続き
- 福祉・健康
- 子育て・教育



◀詳しくはこちらをご覧ください

お問い合わせ
鹿沼市 総合政策部 鹿沼営業戦略課
E-mail : kanumaeigyou@city.kanuma.lg.jp
TEL : 0289-63-0154



我が家の♡ アイドル

1歳を迎えたお子さんをご紹介します。
※6月11日～7月6日生掲載



緑町1丁目
大出 晶斗くん
(R2.6.11生)



上石川
谷中 斗真くん
(R2.6.11生)



茂呂
小出 夏穂乃ちゃん
(R2.6.19生)



久野
佐野 日環ちゃん
(R2.6.20生)



日吉町
見目 一乃ちゃん
(R2.6.21生)



西茂呂
宇賀神 奏翔くん
(R2.6.24生)



池ノ森
高橋 心花ちゃん
(R2.6.24生)



上石川
狩野 陽向くん
(R2.6.25生)

おめでとうございます。



下田町2丁目
渡邊 富枝さん
(T10.7.8生)



上殿町
駒場 キミさん
(T10.7.10生)

ぶんげい

名前(ふりがな)・住所を明記し、
はがき・メールで応募ください。
締切は毎月20日(到着分です)。
〒322-8601 今宮町1688-1
メール koho@city.kanumata.jp
広報広聴係(応募部門を明記)

市民俳壇

夕立の止みて行き交う散歩道

上野町 竹澤 光子

風の道あけてととのふ夏座敷

栄町一丁目 中荒井弘美

農道を軽鳴一家のお引越

榎木町 上野佐喜子

弟と待ち伏せをしたオニヤンマ

引田 斎藤 良明

鳴き終へて移る季告げむ蟬骸

松原 伊東 康則

畦の草刈りてビールの一気飲み

上日向 高山 茂

青田波行きつくところ子ども園

万町 海原ゆう子

子燕の落下助けし夫牧師

中栗野 大塚 初江

市民歌壇

夫の顔見ずとも判る足音に今日の体調そして機嫌も

上野町 榎木 和子

梅雨晴れの土手に群れ咲く螢草空の青より鮮やかに

日吉町 小川 豊治

汗が 護摩を焚く僧侶の衣に汗にじむ手合わす我も項に

東町三丁目 松永 治子

小林 夏江選

我が家のアイドル募集

○締切 1歳の誕生日まで

○申し込みに必要なもの

①お子さんの写真

(郵送・持参:裏面に記名、メール:5MB以内)

※頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるもの

②お子さんの名前・性別・誕生日、住所、

電話番号、保護者氏名

○申込方法

郵送・メール・広報広聴係(市役所行政棟3階)へ直接持参

〒322-8601 今宮町1688-1

広報広聴係「我が家のアイドル係」

メール koho@city.kanuma.lg.jp

右のQRコードからもメール送信可能



下沢
伊藤 彩葉ちゃん
(R2.6.26生)



上石川
日向野 愛深ちゃん
(R2.6.28生)



西茂呂
峰 稜真くん
(R2.6.29生)



村井町
金子 紘大くん
(R2.6.30生)



緑町3丁目
菊地 顕聖くん
(R2.7.1生)



玉田町
高山 誌恩くん
(R2.7.3生)



下粕尾
黒川 柚斗くん
(R2.7.6生)

市民川柳

昭和史に消えることない終戦日

白寿までめぐりそう友とグータッチ

長雨でお墓の花も日持ちする

終戦日野草麦飯生き延びる

五輪観てまた感涙を繰り返す

運動会中止を知らぬ赤とんぼ

秋風にさらに巣ごもり促され

待ちわびるコロナ収束旅バッグ

9月号の「市民川柳」に掲載した大貫里子さんの川柳に誤りがありました。「目じから」は「目ぢから」とお詫びして訂正します。

東の間の時間に作るたつぷりと笑顔の詰まる早苗
饗饅頭
西沢町 安達 和子

所在なく今日もだらだら過ぎしおり猛暑とコロナ
言訳にして
万 町 中又 令子

八十年生きてようやく気付きたり心いまだに少年
のまま
千 渡 丸山 修一

卒寿にて四人となりシクラス会コロナ禍ゆえに会え
ず電話す
富 岡 佐藤富一郎

暑さゆえ眠れぬ夜半の静寂を破りて寸時救急車過ぐ
西沢町 竹沢 敏子

白石 洋 選

加 園 池田 大

上 殿 町 沼尾 登代

下 奈良部 町 小野口 博

西 茂呂 阿部 金次

下 材木 町 中島 克敏

板 荷 島田 ふみ

上 殿 町 小暮 靖子

油 田 町 酒井 國男

庁舎整備

総合計画

高齢者支援センター

国体・民生委員

選挙

市民のひろば

フラッシュ

健康

お知らせ

プレミアム商品券